

その他の食料品製造業における作業床、歩み板を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	22～ 23	機械洗浄を終えて、洗い場より台車にのせた部品を運搬中、床が濡れていた為足を滑らせて転倒し、後頭部と腰を打った。	63	500 ～ 999
1	13～ 14	会社に出勤して、更衣室で作業着（ズボン）に着替えていたところ足を滑らせ、体の左側を下にした形で転倒した。左足がしびれ、動こうとすると激しい痛みがあり、床に座ったまま立ち上がれなくなり、後日に大腿骨骨折と診断された。	46	300 ～ 499
1	15～ 16	当社工場で冷凍製品包装作業中に、冷凍庫の中で冷凍剤未包装の製品を取り出す際、足を滑らせ胸を打ち、肋骨を骨折した。	47	1～ 9
2	16～17	加熱室にて、モツのタレを作り、ビニールにパッキングした後、後方にあるカゴに入れようと歩いた際、床が濡れていたため滑って転倒し、床に手をつき左手首を骨折の負傷をした。	54	50 ～ 99
2	7～8	焼成Aラインの調合作業時、調合タンクからストックタンクへ送液する為のスイッチを押す為タンクの奥に移動した際バランスを崩し転倒してしまった。	61	50 ～ 99
2	10～11	PF餃子ラインの餃子成形機に部品を取り付け、止め具を内側に締め上げた際、両手にビニール手袋を装着していたが手元が滑り、後方に尻もちを付く形で転倒した。当日は痛みがなかったが、翌日午前中に痛みが出て来て、病院を受診したところ、腰の骨が折れていた。	59	50 ～ 99
2	18～19	結婚式場において披露宴終了後、後片付け中転倒し、とっさに右手をついた為全体重が右手にかかり小指の下を骨折してしまった。	70	—

2	18~19	工場内加熱調理室オープン前のテーブルにて、カルビ肉を鉄板に並べ、並べ終わった肉を加熱蒸気オーブンに入れる作業を数人でしていたところ、他作業者の動きに気をとられ足を滑らせて転倒し、テーブルの角で顔面を強打した。	61	300 ～ 499
2	17~18	1号釜で麺を茹でる時に機械を始動させても釜が動かなかったので、釜上部の駆動部分を確認しようとステップ台を出さない状態で上に足を掛け、確認後降りようとした際、足を滑らせて転落し、2号釜のステップ台で腰部を強打し負傷した。	36	100 ～ 299
2	5~6	製造終了後、2F加工室のリネン室にタオルを取りに入った際、リネン室を出る時に足を滑らせ転倒し、右手を床に着いた。その時に右手首を骨折した。	56	300 ～ 499
2	5~6	バット洗浄室で、バットの洗浄中、濡れている床で足を滑らせ転倒した。体の左側、腰から肩、顔にかけてを床面で打ち打撲・捻挫を負った。	41	100 ～ 299
2	16~17	床に座ってブラシと雑巾と剥離剤を用いてワックスを除去していたところ、立ち上がろうとして足を滑らせ床面に転倒し、脱臼した。	68	100 ～ 299
2	22~23	工場内食器清浄器室において、食器清浄の作業中、周りに物（回収した食器のコンテナやゴミ入れ）を多く置き過ぎていた為に、食器の入ったコンテナに引っ掛かり、ゴミ入れに躓いて転倒した弾みで右手を床についたことにより負傷したものである。	69	30 ～ 49
2	17~18	勤務時間が終了し、帰る為にピッキング室を通った際、番重がのった台車に気付いていたが、急いでいた為、うっかり番重に足を入れてしまい、前方に転倒した。その時、右手はエプロンを持っており、左手で体を支えた為、左手手首を骨折した。	67	100 ～ 299
3	19~20	洗った食器を乾燥機の中に入れ、先に入っていた調理器具を片付けようと両手に持ち、2~3歩進んだときに滑って転倒し、胸を強打し、首を捻って痛めた。	68	30 ～ 49
		切込室で作業中、部屋に走って入ってきた人に気づかず、振り向いた際に足が引っ		100

3	12~13	掛かり転倒し、手首を床に打ちつけて負傷した。	63	～ 299
3	9~10	工場内に指示書を渡して帰る途中、濡れていた床に右足を滑らせ、右ひざから地面にぶつかり、救急搬送される。	40	50 ～ 99
4	21～ 22	F3ライン盛付室内のトレー洗浄機付近において使用の調理加工具材入れ用番重の洗浄作業中に、移動時に足を滑らせて転倒し、尻もちと同時に左手を着いた。転倒した場所は滑りやすい状況であった。	68	100 ～ 299
4	11～ 12	センター内調理場にて調理後の片付け作業中に、床から出ているコンセント支柱（20cm）につまずき転倒し、右肘裂傷・頭部打撲傷を負い、右肘2針縫合の処置をした。	53	50 ～ 99
4	8～9	スティックシュガーを製造する作業場にて、次の作業に取りかかろうと包装機裏側へ回るため歩いていた際、床につまずき左肘および左膝を床につき打撲した。	49	50 ～ 99
4	5～6	本社工場厨房において、連続式フライヤーを掃除する際に油槽に溜まっている油を一時的に移しておくタンク（縦1m横1m高さ50cm底に車輪が着いた物）を本来ならば手で動かさなければいけないのに足で動かそうとしたところ転倒して負傷した。	69	300 ～ 499
4	17～ 18	工場に出張中に包装室内Dライン脱水機の調査中、3段ステップにて脱水機内部を確認していたときに、ステップから降りたが他に気に掛かる部分があり、振り返り、脱水機を見上げながら移動しようとした際に業務用計量機掻き上げの移動用レールにつまずき転倒した。	63	100 ～ 299
5	14～ 15	洗浄室で用具の洗浄作業中、洗浄済みの用具をカートの上部分に乗せようとした時に床面が濡れていたため、足を滑らせ後方に転倒した。	44	30 ～ 49
5	7～8	足元の後ろにパレットがあり、リーダーの方を向いたまま後退りした時に躓き転倒した。	65	10 ～

				29
5	16～ 17	作業場内にて食材を数種類混ぜ合わせる配合という作業をしていた時、食材を開封しようと移動した際に足を滑らせ、柱に手をついたとき右手中指を骨折した。	47	100 ～ 299
5	8～9	当該工場東側バラエティライン取出し口付近で、18段積んである1番上の空ケースを左手に2ケース、右手に1ケースを持って方向転換して作業場に戻ろうとした時に、右足が滑って両手にケースを持っていたため、手をつけず左肩を床に打ち脱臼骨折した。	57	100 ～ 299
6	8～9	社内休憩室にて清掃作業中、使用している掃除機の電源コードをずらそうと移動していた。その際、コードに足が引っ掛けてしまい前方に転倒し、床に両膝を打ちつけてしまい、左膝が腫れ上がってしまった。	63	300 ～ 499
6	11～ 12	野菜ペーストを製造中、足が滑り、膝を機器の角にぶつけ、さらに床にぶつけた。床面の劣化が確認された為、防滑加工をした。靴の交換ルールが決まっていなかったため、ルールとチェック方法を決めた。	56	100 ～ 299
6	9～ 10	肉下処理室冷蔵庫にスライスされた肉が入ったバットを運び入れ、振り返った際に転倒し、臀部を床に打ち付けた。（床は濡れていて滑りやすい状態だった）	56	300 ～ 499
6	10～ 11	工場入口の門辺りを放水作業中、ホースに躓いて転倒し、コンクリート地面に左膝を打った。	48	10 ～ 29
7	16～17	負傷の3ヶ月前に自宅で左足の皿の負傷しており、左足をかばって生活をしていたが、調理場でテーブルを拭いていたところ、振り返った瞬間にバランスを崩し転倒し、左足太ももを骨折した。	57	300 ～ 499
7	7～8	当社弁当調理工場内で天ぷらを揚げるためボールを持って天ぷら粉を溶いていたところ、揚場付近に油っぽい物があり滑って転倒し、その際に左肩を負傷したものである。	66	50 ～ 99
				50

7	4~5	工場内で、早朝、置いてあったダンボールに躓き、転んで右ひざを打ち負傷した。	69	～ 99
7	8~9	病棟へ台車を取りに行くために、洗浄室のドアを開けようとした時、少し濡れていた床で足を滑らせてしまい、そのまま転倒し床に手をついた。	50	10 ～ 29
7	10~ 11	ライン周りで品質チェックをしていたところ、洗浄時の仕切りとして使用しているカーテンに足を引っ掛け、転倒した際に両手をついた。	58	500 ～ 999
7	16~ 17	工場内作業場にて掃除中、ニンジンの皮で滑り、転倒したときに左膝を捻ってしまい、左膝の皿を脱臼した。	63	30 ～ 49
7	9~ 10	原料切り込み場において清掃中、足を滑らせ転倒した。その際、右手を地面に打ちつけて骨折した。	46	10 ～ 29
7	16~ 17	工場内において、被災者が使用済みのアルコールボトル（小型・軽量、霧吹きスプレーサイズ）を洗浄しようと、洗浄室内に入ろうとした際に、踏み出した左足を床で滑らせ、バランスを崩して後方へ転倒し、左手と腰を強打して負傷した。	62	30 ～ 49
9	11~ 12	食品の詰め作業の際、容器を置くために床に敷いてあったダンボールにつまずいて転倒。右ひざをひねったか、床についたかして骨折した。	55	10 ～ 29
9	7~8	小学校の給食室で小松菜を切っていたところ、他のシンクに溜めていた水が一杯になり、水を止めるために急いでシンクに移動した際、濡れた床で滑って右足が前方に流れたために左膝を強く床に打ってしまい、左膝の皿が割れてしまったものである。	56	10 ～ 29
9	14~ 15	工場内包装場の縦ピロ5号機の階段上部横に設置されているエージレス（乾燥剤）投入機にエージレスを補充している時、バランスを崩し投入機との間に頭から床に転落、脳挫傷を負ったものである。	50	100 ～ 299

9	17～ 18	事業場内にて鳥五目の具材の仕込み作業に従事中、汁の入った容器を台車に乗せて移動したところ、床下排水口の蓋が清掃のため開いていたことに気付かず、排水口に落下して転倒し左腰を打ち、肋骨を骨折したものである。	57	100～ 299
9	12～ 13	本社工場入口手前のエアシャワー室にて、エアシャワー中に足を滑らせバランスを崩し、進行方向のドアと右手側の壁の間に右手をついた際、右手小指を負傷した。	55	50～ 99
10	11～ 12	精肉作業場で作業中、突起物等がない床で躓きバランスを崩し倒れそうになった為、左手をついたところ左手首が痛んだ。	59	30～ 49
10	11～ 12	商品切替え時必要な備品を取りに行った際、足元の水漏れに気づかず滑って尻餅をつく。	40	100～ 299
10	11～ 12	当社製造部内の加熱前のチャーシューをネットに入れる部署で、午前中の作業が終了し後片付けをして一段落した状態の時に、床にあった小さな肉片または脂分で足を滑べらせ、体がねじれた状態で転倒して足のつけ根を骨折した。	77	30～ 49
10	10～ 11	厨房にて、作業台と作業台の間を通り、その先の棚にあるものを取りに歩いていて、右へ曲がりかけてシンク横の棚の足に、右足がひっかかり、左斜め前方へうつぶせの状態転倒した。	63	50～ 99
11	14～ 15	会社工場内において、建築資材の木材を自動制御の横架材加工ラインで加工作業中、センサー反応不良で機械停止となったため、材料を取り出そうと左手を入れ、材料を少し動かしたところ、センサーが反応し、機械が作動した拍子に、左手を挟まれ負傷した。	70	100～ 299
11	13～ 14	巻物で使用する海苔を入れたカートを運搬中、ポリッシャー清掃中で濡れた場所を通った時に足を滑らせ転倒した。その際手を地面についたため、右肩峰あたりの筋を痛めた。	51	500～ 999
11	12～ 13	本社工場加工室内において、脱気包装が必要な商品を空の籠を台車に乗せ取りに行く途中、当時床が水で濡れており、本人も少しばかり急いでいたため誤って滑って	61	100～

		転倒した。転倒した時に左手を床に着き負傷したものである。		299
11	21～ 22	被災者は、惣菜2号ライン移動中、ゼリー状の残渣で滑り、左膝を床に打ち付け負傷した。	62	500 ～ 999
11	11～ 12	給食厨房室にてガス台横にある配膳台に向かって歩いていたところ転倒し、左膝、右腕、顔面を打撲した。	64	100 ～ 299
11	17～ 18	玉ねぎの皮むき作業を行う現場で移動歩行中、湿っているような所を通った際に滑るような形で転び、右くるぶしを骨折した。	59	50 ～ 99
12	9～10	洗浄部にて、ケースの洗浄をしていた際、水で濡れた床ですべって頭を打った。	42	100 ～ 299
12	13～14	年末の大掃除を実施中に、普段より多くの物品が通路周辺に置かれていた。集塵機の扉を洗浄した水が床にこぼれたため、床のモップがけを行っていた。被災者がその場所を通ったとき、滑って転倒し受傷した。	47	300 ～ 499
12	14～15	昼食の洗浄中、食器カゴを取ろうと1～2歩前に進んだところ、排水溝の蓋につま先が引っ掛かり、前のめりに転び、右肘と右足付け根を強打した。	59	10 ～ 29

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html